

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月13日

【四半期会計期間】 第113期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 日産自動車株式会社

【英訳名】 NISSAN MOTOR CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 カルロス ゴーン

【本店の所在の場所】 横浜市神奈川区宝町2番地

【電話番号】 045(461)7410

【事務連絡者氏名】 経理部連結会計グループ主担 田上実

【最寄りの連絡場所】 横浜市西区高島一丁目1番1号

【電話番号】 045(523)5523(代)

【事務連絡者氏名】 経理部連結会計グループ主担 田上実

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第112期 第3四半期 連結累計期間	第113期 第3四半期 連結累計期間	第112期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (第3四半期連結会計期間)	(百万円) 6,421,831 (2,102,754)	6,698,417 (2,330,971)	8,773,093
経常利益 (百万円)	456,238	416,838	537,814
四半期(当期)純利益 (第3四半期連結会計期間)	(百万円) 288,447 (80,066)	266,097 (82,667)	319,221
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	95,179	51,796	189,198
純資産額 (百万円)	3,180,604	3,239,535	3,273,783
総資産額 (百万円)	10,118,300	10,452,038	10,736,693
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (第3四半期連結会計期間)	(円) 69.11 (19.13)	63.63 (19.78)	76.44
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	28.2	27.8	27.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	312,970	285,009	667,502
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	157,736	471,002	331,118
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	90,008	155,806	110,575
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	763,301	765,268	1,153,453

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2 売上高には、消費税等は含まれていない。

3 第112期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理している。

4 第112期、第112期第3四半期連結累計期間及び第113期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していない。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社に異動はない。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものである。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6兆6,984億円と、前第3四半期連結累計期間(以下、「前年同累計期間」という。)に比べ2,766億円(4.3%)の増収となったが、営業利益は前年同累計期間に比べ211億円(4.7%)減少し、4,278億円となった。

営業外損益は110億円の損失となり、前年同累計期間に比べ183億円悪化した。これは主に持分法による投資利益の減少によるものである。その結果、経常利益は4,168億円となり、前年同累計期間に比べ394億円(8.6%)の減益となった。特別損益は210億円の損失となり、前年同累計期間に比べ133億円悪化した。これは投資有価証券売却益の増加や退職給付信託設定益の計上があったものの、主に災害損失の計上と固定資産売却益の減少によるものである。税金等調整前四半期純利益は3,958億円となり、前年同累計期間に比べ527億円(11.8%)の減益となった。四半期純利益は2,661億円となり、前年同累計期間に比べ223億円(7.7%)の減益となった。

セグメントの業績は、次のとおりである。

自動車事業

自動車事業の業績は、売上高(セグメント間の内部売上高を含む)は、6兆3,811億円と、前年同累計期間に比べ3,087億円(5.1%)の増収となった。営業利益は3,081億円と前年同累計期間に比べ570億円(15.6%)の減益となった。これは原価低減、売上台数の増加といった増益要因はあったものの、主に為替変動と原材料価格・エネルギー費の上昇及び販売費の増加によるものである。

販売金融事業

販売金融事業の売上高(セグメント間の内部売上高を含む)は、3,638億円と、前年同累計期間に比べ152億円(4.0%)の減収となった。営業利益は1,091億円と前年同累計期間に比べ345億円(46.2%)の増益となった。これは主に北米のクレジットリスクに関わる費用の改善によるものである。

なお、所在地別に区分した業績は、次のとおりである。

a. 日本

- ・売上高(所在地間の内部売上高を含む)は、3兆4,786億円と、前年同累計期間に比べ1,283億円(3.8%)の増収となった。
- ・営業利益は、730億円となり前年同累計期間に比べ130億円(15.1%)の減益となった。
主な減益要因は、為替変動である。

b. 北米

- ・売上高(所在地間の内部売上高を含む)は、2兆3,643億円と、前年同累計期間に比べ200億円(0.8%)の減収となった。
- ・営業利益は、1,766億円となり前年同累計期間に比べ14億円(0.8%)の減益となった。
売上台数の増加及び販売金融事業による増益はあったものの、主に販売費の増加により相殺された。

c. 欧州

- ・売上高(所在地間の内部売上高を含む)は、1兆2,316億円と、前年同累計期間に比べ2,378億円(23.9%)の増収となった。
- ・営業利益は、152億円となり前年同累計期間に比べ172億円(53.2%)の減益となった。
主な減益要因は、為替変動である。

d. アジア

- ・売上高(所在地間の内部売上高を含む)は、1兆5,197億円と、前年同累計期間に比べ1,083億円(7.7%)の増収となった。
- ・営業利益は、1,398億円となり前年同累計期間に比べ28億円(1.9%)の減益となった。
売上台数の増加による増益はあったものの、主に販売費の増加と為替変動により相殺された。

e. その他

- ・売上高(所在地間の内部売上高を含む)は、4,842億円と、前年同累計期間に比べ23億円(0.5%)の減収となった。
- ・営業利益は、198億円となり前年同累計期間に比べ31億円(18.9%)の増益となった。
主な増益要因は、売上台数の増加である。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により2,850億円増加、投資活動により4,710億円減少、財務活動により1,558億円減少、また現金及び現金同等物に係る換算差額により467億円減少、連結範囲の変更に伴い3億円増加した結果、3,882億円の減少となった。その結果、当第3四半期連結会計期間末残高は7,653億円となった。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって生み出された資金は2,850億円となり、前年同累計期間の3,130億円に対し280億円減少した。これは、法人税等の支払額は減少したものの、主として、販売金融債権の増加額の増加によるものである。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は4,710億円となり、前年同累計期間の1,577億円の支出に対し3,133億円増加した。これは主として、拘束性預金の減少額の減少及び短期投資が増加に転じたことによるものである。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は1,558億円となり、前年同累計期間の900億円の支出に対し658億円の増加となった。これは主として、短期借入金が減少に転じたことによるものである。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。なお、第2四半期に記載したタイの洪水については、全社一丸となり生産正常化に向けた迅速な対応を行い、11月14日から一部生産を再開し、12月上旬には通常の生産レベルに回復している。

(4) 研究開発活動

当社グループは、将来にわたって持続性のある車社会の実現に向けて、環境や安全など様々な分野での研究開発活動を積極的に行っている。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の金額は2,936億円である。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間における当社グループのグローバル販売台数は3,429千台となり前年同累計期間の13.6%増となった。

国内の全体需要は前年同累計期間比11.3%減少したが、当社グループの国内販売台数は前年同累計期間比2.0%減にとどまり、429千台となった。その結果、市場占有率は1.3ポイント上昇し、14.0%となった。

中国の全体需要は前年同累計期間に対して4.7%増加した。当社グループの販売台数は前年同累計期間比20.1%増の907千台となり、市場占有率は0.9ポイント上昇し、7.2%となった。

米国の全体需要は前年同累計期間比7.5%増加し、当社グループの販売台数は前年同累計期間比11.3%増の757千台となり、市場占有率は7.8%となった。メキシコとカナダを含む北米市場では前年同累計期間比12.1%増の998千台となった。

欧州の全体需要は前年同累計期間比4.1%増加し、当社グループの販売台数は前年同累計期間比20.8%増の514千台となり、市場占有率は3.7%となった。

アセアン、中南米、中近東を含むその他市場における当社グループの販売台数は前年同累計期間比14.2%増の581千台となった。

当第3四半期連結累計期間の業績は、販売面では東日本大震災やタイでの洪水の影響があったものの、生産正常化に向けた迅速な対応と当社の商品に対する強い需要を背景に全体では好調であった。その結果、販売台数については前年同累計期間を上回ることが出来た。しかし、収益面では大幅な円高並びに原材料価格の上昇により、前年同累計期間比では減益となった。為替や原材料の高騰、そして世界経済の不透明感を含む経営環境は厳しさを増していると認識しているが、当社グループは中期経営計画である「日産パワー88」を実行することによって、持続可能な成長と収益性の両立を目指して参りたい。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動により2,850億円の増加、投資活動により4,710億円の減少、財務活動により1,558億円減少した。また現金及び現金同等物に係る換算差額により467億円減少、連結範囲の変更に伴い3億円増加したことによって、現金及び現金同等物は3,882億円の減少となった。その結果、当第3四半期連結会計期間末での現金及び現金同等物は7,653億円となった。

資金の流動性については金融市場の急激な環境変化などにより注視が必要であるが、当社グループは、現金及び現金同等物に加え、世界の主要銀行とコミットメントライン契約を締結しており、必要とされる十分な流動性を確保していると考えている。

(7) 生産及び販売の状況
生産実績

会社所在地	生産台数(台)		増減 (台)	前年同累計期間比 (%)
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間		
日本	849,717	890,122	40,405	4.8
米国	381,789	413,667	31,878	8.3
メキシコ	392,873	457,353	64,480	16.4
英国	323,479	355,856	32,377	10.0
スペイン	83,663	115,042	31,379	37.5
中国	474,099	537,950	63,851	13.5
タイ	147,556	127,625	19,931	13.5
インドネシア	24,684	30,426	5,742	23.3
インド	42,703	95,221	52,518	123.0
南アフリカ	31,039	35,456	4,417	14.2
ブラジル	16,485	24,154	7,669	46.5
合計	2,768,087	3,082,872	314,785	11.4

(注) 1 台数集約期間は、中国は平成23年1月から平成23年9月まで、その他の10ヶ国は平成23年4月から平成23年12月までである。
2 フォークリフトの実績を除く。

販売実績

仕向地	販売台数(連結売上台数：台)		増減 (台)	前年同累計期間比 (%)
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間		
日本	423,499	431,233	7,734	1.8
北米	916,340	1,015,402	99,062	10.8
内、米国	708,202	786,225	78,023	11.0
欧州	462,348	551,938	89,590	19.4
アジア	641,849	740,898	99,049	15.4
内、中国	485,279	558,310	73,031	15.0
その他	355,360	405,413	50,053	14.1
合計	2,799,396	3,144,884	345,488	12.3

(注) 1 台数集約期間は、アジアに含まれる中国、台湾は平成23年1月から平成23年9月まで、日本、北米、欧州、その他、並びに中国、台湾を除くアジアは平成23年4月から平成23年12月までである。
2 フォークリフトの実績を除く。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000,000
計	6,000,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,520,715,112	4,520,715,112	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株である。
計	4,520,715,112	4,520,715,112		

(注) 提出日現在発行数には、平成24年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていない。

(2) 【新株予約権等の状況】

当第3四半期会計期間において発行した新株予約権及び新株予約権付社債はない。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
自平成23年10月1日 至平成23年12月31日		4,520,715		605,813		804,470

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないので、直前の基準日である平成23年9月30日現在で記載している。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 39,099,200		
	(相互保有株式) 普通株式 211,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,480,755,300	44,807,553	
単元未満株式	普通株式 649,412		
発行済株式総数	4,520,715,112		
総株主の議決権		44,807,553	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式27株、相互保有株式30株が含まれている。

単元未満株式の相互保有株式

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有株式数(株)
甲斐日産自動車(株)	30

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 日産自動車(株)	神奈川県横浜市神奈川区 宝町2	39,099,200		39,099,200	0.86
(相互保有株式) 高知日産プリンス販売(株)	高知県高知市旭町2 21	28,600	74,800	103,400	0.00
甲斐日産自動車(株)	山梨県甲府市上今井町706	37,800	33,500	71,300	0.00
日産プリンス香川販売(株)	香川県善通寺市生野町1037		31,500	31,500	0.00
香川日産自動車(株)	香川県高松市花園町 1 1 8	4,800		4,800	0.00
計		39,170,400	140,000	39,310,400	0.87

(注) 「所有株式数」のうち、「他人名義」で所有している株式数は、当社取引先持株会名義(住所：神奈川県横浜市西区高島1 1 1)で所有している相互保有会社の持分に相当する株数である。

(100株未満は切捨てて表示している。)

2 【役員の状況】

該当事項なし。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成している。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第4項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成している。

また、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	998,822	637,308
受取手形及び売掛金	738,950	663,502
販売金融債権	2,746,836	2,924,727
有価証券	158,012	138,332
商品及び製品	641,055	767,139
仕掛品	139,529	169,782
原材料及び貯蔵品	201,649	206,348
その他	802,937	806,481
貸倒引当金	81,955	53,799
流動資産合計	6,345,835	6,259,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	645,414	595,220
機械装置及び運搬具（純額）	1,841,480 ₁	1,747,293 ₁
土地	659,985	653,003
建設仮勘定	98,663	185,359
その他（純額）	391,500	308,760
有形固定資産合計	3,637,042	3,489,635
無形固定資産	133,769	120,595
投資その他の資産		
投資有価証券	381,549	354,139
その他	242,851	231,037
貸倒引当金	4,353	3,188
投資その他の資産合計	620,047	581,988
固定資産合計	4,390,858	4,192,218
資産合計	10,736,693	10,452,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,181,469	1,325,023
短期借入金	593,095	372,944
1年内返済予定の長期借入金	933,976	769,049
コマーシャル・ペーパー	256,601	121,100
1年内償還予定の社債	87,280	163,071
リース債務	77,598	46,751
未払費用	580,350	510,876
製品保証引当金	85,688	77,723
災害損失引当金	12,128	8,093
その他	572,360	511,979
流動負債合計	4,380,545	3,906,609
固定負債		
社債	640,850	580,122
長期借入金	1,422,478	1,766,682
リース債務	67,135	38,379
製品保証引当金	98,668	93,894
退職給付引当金	182,155	153,460
役員退職慰労引当金	914	557
その他	670,165	672,800
固定負債合計	3,082,365	3,305,894
負債合計	7,462,910	7,212,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,814	605,814
資本剰余金	804,470	804,470
利益剰余金	2,733,253	2,936,602
自己株式	162,024	171,038
株主資本合計	3,981,513	4,175,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,862	2,517
繰延ヘッジ損益	1,904	2,914
為替換算調整勘定	1,048,919	1,249,413
その他	13,945	13,945
その他の包括利益累計額合計	1,040,098	1,268,789
新株予約権	2,415	2,415
少数株主持分	329,953	330,061
純資産合計	3,273,783	3,239,535
負債純資産合計	10,736,693	10,452,038

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,421,831	6,698,417
売上原価	5,196,624	5,528,319
売上総利益	1,225,207	1,170,098
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	129,317	142,770
製品保証引当金繰入額	68,746	55,005
販売諸費	82,021	88,729
給料及び手当	246,408	235,659
貸倒引当金繰入額又は戻入額()	17,974	9,669
その他	231,880	229,841
販売費及び一般管理費合計	776,346	742,335
営業利益	448,861	427,763
営業外収益		
受取利息	11,245	12,331
受取配当金	973	5,420
持分法による投資利益	42,268	18,246
デリバティブ収益	17,519	8,774
雑収入	9,682	6,791
営業外収益合計	81,687	51,562
営業外費用		
支払利息	20,966	23,978
為替差損	32,126	20,375
雑支出	21,218	18,134
営業外費用合計	74,310	62,487
経常利益	456,238	416,838
特別利益		
固定資産売却益	9,891	2,024
投資有価証券売却益	2,212	10,640
退職給付信託設定益	-	7,048
その他	1,646	2,537
特別利益合計	13,749	22,249
特別損失		
固定資産廃棄損	5,126	3,594
減損損失	5,394	9,388
災害による損失	-	27,079
その他	10,922	3,241
特別損失合計	21,442	43,302
税金等調整前四半期純利益	448,545	395,785
法人税等	137,442	104,887
少数株主損益調整前四半期純利益	311,103	290,898
少数株主利益	22,656	24,801
四半期純利益	288,447	266,097

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311,103	290,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,708	23,730
繰延ヘッジ損益	3,170	4,966
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	1,573	-
為替換算調整勘定	215,738	202,262
持分法適用会社に対する持分相当額	13,491	8,144
その他の包括利益合計	215,924	239,102
四半期包括利益	95,179	51,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,427	37,405
少数株主に係る四半期包括利益	10,752	14,391

【第3四半期連結会計期間】
【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,102,754	2,330,971
売上原価	1,737,145	1,940,915
売上総利益	365,609	390,056
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	47,471	55,553
製品保証引当金繰入額	20,208	20,292
販売諸費	26,310	35,659
給料及び手当	84,014	76,870
貸倒引当金繰入額	3,976	705
その他	69,633	82,897
販売費及び一般管理費合計	251,612	271,976
営業利益	113,997	118,080
営業外収益		
受取利息	4,844	4,021
持分法による投資利益	37,030	2,648
為替差益	-	9,927
雑収入	5,668	2,304
営業外収益合計	47,542	18,900
営業外費用		
支払利息	6,938	8,087
デリバティブ損失	-	3,331
為替差損	5,211	-
雑支出	8,289	4,091
営業外費用合計	20,438	15,509
経常利益	141,101	121,471
特別利益		
固定資産売却益	29	1,121
退職給付信託設定益	-	7,048
その他	385	670
特別利益合計	414	8,839
特別損失		
固定資産廃棄損	1,874	1,477
減損損失	3,558	3,051
災害による損失	-	5,953
その他	3,019	739
特別損失合計	8,451	11,220
税金等調整前四半期純利益	133,064	119,090
法人税等	46,028	26,641
少数株主損益調整前四半期純利益	87,036	92,449
少数株主利益	6,970	9,782
四半期純利益	80,066	82,667

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,036	92,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,303	996
繰延ヘッジ損益	1,597	940
為替換算調整勘定	52,084	10,724
持分法適用会社に対する持分相当額	8,594	23,529
その他の包括利益合計	39,590	36,189
四半期包括利益	47,446	56,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,693	50,775
少数株主に係る四半期包括利益	2,753	5,485

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	448,545	395,785
減価償却費(リース車両除く固定資産)	293,487	274,640
減価償却費(長期前払費用)	14,975	12,403
減価償却費(リース車両)	158,732	143,401
減損損失	5,394	9,388
災害による損失	-	8,245
退職給付信託設定益	-	7,048
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,982	23,006
受取利息及び受取配当金	12,218	17,751
支払利息	62,285	64,797
固定資産売却損益(は益)	8,746	968
固定資産廃棄損	5,126	3,594
投資有価証券売却損益(は益)	2,176	10,621
売上債権の増減額(は増加)	23,708	32,934
販売金融債権の増減額(は増加)	217,187	330,136
たな卸資産の増減額(は増加)	309,412	259,568
仕入債務の増減額(は減少)	142,079	173,213
退職給付会計基準変更時差異の処理額	8,006	7,616
退職給付費用	37,067	36,078
退職給付引当金の取崩による支払額	25,061	52,323
その他	58,700	43,724
小計	516,506	416,949
利息及び配当金の受取額	11,348	17,982
利息の支払額	62,106	64,811
法人税等の支払額	152,778	85,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	312,970	285,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資の純増減額(は増加)	82,725	8,932
固定資産の取得による支出	161,955	238,991
固定資産の売却による収入	28,250	13,378
リース車両の取得による支出	443,303	454,690
リース車両の売却による収入	252,765	230,598
長期貸付けによる支出	21,670	4,046
長期貸付金の回収による収入	8,889	16,958
投資有価証券の取得による支出	10,363	14,952
投資有価証券の売却による収入	1,397	6,062
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	537
国内販売会社の再編に伴う支出	-	927
拘束性預金の純増減額(は増加)	102,744	3,839
その他	2,785	19,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,736	471,002

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	82,420	356,210
長期借入れによる収入	491,293	1,045,002
社債の発行による収入	233,086	119,977
長期借入金の返済による支出	547,890	730,071
社債の償還による支出	266,822	88,451
少数株主からの払込みによる収入	3,874	2,606
自己株式の取得による支出	10	9,014
ファイナンス・リース債務の返済による支出	63,317	63,697
配当金の支払額	20,922	62,748
少数株主への配当金の支払額	1,720	13,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,008	155,806
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	68,734	46,647
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,508	388,446
現金及び現金同等物の期首残高	761,495	1,153,453
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,314	261
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 763,301	1 765,268

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示している。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(追加情報) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用している。

[次へ](#)

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)			当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)		
1 1 「機械装置及び運搬具(純額)」には、リース契約による資産(貸主)が1,133,924百万円含まれている。			1 1 「機械装置及び運搬具(純額)」には、リース契約による資産(貸主)が1,117,925百万円含まれている。		
2 保証債務等の残高			2 保証債務等の残高		
(1) 保証債務			(1) 保証債務		
被保証者	保証債務残高	保証債務の内容	被保証者	保証債務残高	保証債務の内容
従業員	103,044百万円	借入金(住宅資金等)の債務保証	従業員	91,390百万円	借入金(住宅資金等)の債務保証
在外販売会社 64社	2,985	借入金等の債務保証	在外販売会社 39社	1,407	借入金等の債務保証
他 10社			他 8社		
計	106,029		計	92,797	
主に、貸倒実績率を基に貸倒引当金を計上している。			主に、貸倒実績率を基に貸倒引当金を計上している。		
(2) 保証予約			(2) 保証予約		
被保証者	保証予約残高	保証予約の内容	被保証者	保証予約残高	保証予約の内容
ひびき灘開発㈱	312百万円	借入金の保証予約	ひびき灘開発㈱	205百万円	借入金の保証予約

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
	1 1 災害による損失の内訳は以下の通りである。
	東日本大震災にかかる損失
	操業休止期間中の固定費 12,251百万円
	被災資産の廃棄損及び修繕費 3,367
	その他 5,508
	計 21,126
	タイの洪水による部品調達影響にかかる復旧対策費用 5,953百万円

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
	1 1 災害による損失の内訳は以下の通りである。
	タイの洪水による部品調達影響にかかる復旧対策費用 5,953百万円

[次へ](#)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)																
<p>1 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>(平成22年12月31日)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">689,673百万円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">3,485</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定の内、現金同等物に含 まれるもの(＊)</td> <td style="text-align: right;">77,113</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">763,301</td> </tr> </table> <p>＊在外会社の容易に換金可能な短期投資</p> <p>2 重要な非資金取引の内容</p> <p>当社、ルノー及びダイムラーAGの3社による戦略的協力の一環として、平成22年4月28日に3社間の資本提携を実施した。当社に係る取引は次の通りである。</p> <p>(1) 当社及びルノーとの間の合意により、ルノーから当社に対して、ダイムラーAGの普通株式の交付が行われ、当社からルノーに対して584,246千ユーロの支払いを行った。</p> <p>(2) 当社及びルノーとの間の合意により、当社からルノーに対して、当社の自己株式の割当を行い、ルノーから当社に対しては73,738百万円の支払いが行われた。</p> <p>上記(1)の当社からルノーに対する支払いに関して円売り・ユーロ買いの為替予約を実施した結果、ルノーから自己株式の対価として73,738百万円を受け取る一方、同時にルノーに対してダイムラーAG株式の対価73,738百万円相当額を支払った。これらの取引は経済的には株式の等価交換であり、実質的に非資金取引とみなして四半期連結キャッシュ・フロー計算書には表していない。</p> <p>当該取引による投資有価証券増加額 73,738百万円 当該取引による自己株式減少額 99,990百万円 当該取引による利益剰余金減少額 26,252百万円</p> <p>また、上記の資本提携に関連して、当社グループのルノーに対する持株比率の維持を目的として、次の一連の非資金取引が同日に実施された。</p> <p>(3) 当社は100%子会社である日産ファイナンス株式会社を割当先として第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行した。(発行価額7,555百万円)</p> <p>(4) 当新株予約権付社債の全ては日産ファイナンス株式会社からルノーに対して現物出資として交付され、ルノーから日産ファイナンス株式会社に対して、ルノーの普通株式の発行が行われた。</p> <p>(5) ルノーは当新株予約権を即日行使し、当社は自己株式をもってルノーへ普通株式を交付した。</p> <p>当該取引による投資有価証券増加額 6,890百万円 当該取引による自己株式減少額 10,244百万円 当該取引による利益剰余金減少額 3,354百万円</p>	現金及び預金勘定	689,673百万円	預入期間が3か月を超える定期預金	3,485	有価証券勘定の内、現金同等物に含 まれるもの(＊)	77,113	現金及び現金同等物	763,301	<p>1 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>(平成23年12月31日)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">637,308百万円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">10,211</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定の内、現金同等物に含 まれるもの(＊)</td> <td style="text-align: right;">138,171</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">765,268</td> </tr> </table> <p>＊在外会社の容易に換金可能な短期投資</p>	現金及び預金勘定	637,308百万円	預入期間が3か月を超える定期預金	10,211	有価証券勘定の内、現金同等物に含 まれるもの(＊)	138,171	現金及び現金同等物	765,268
現金及び預金勘定	689,673百万円																
預入期間が3か月を超える定期預金	3,485																
有価証券勘定の内、現金同等物に含 まれるもの(＊)	77,113																
現金及び現金同等物	763,301																
現金及び預金勘定	637,308百万円																
預入期間が3か月を超える定期預金	10,211																
有価証券勘定の内、現金同等物に含 まれるもの(＊)	138,171																
現金及び現金同等物	765,268																

[前へ](#) [次へ](#)

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年11月4日 取締役会	普通株式	利益剰余金	20,922	5	平成22年9月30日	平成22年11月29日

(注) 配当金の総額は、ルノーに対する配当金の内、ルノー株式に占める当社持分相当の配当金を控除したものである。

- 2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

当第3四半期連結会計期間において、該当事項はない。

3 株主資本の金額の著しい変動

当社、ルノー及びダイムラーAGの3社による資本提携を目的とした第三者割当による自己株式の処分、並びに無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に伴う新株予約権の行使を含む一連の取引により、平成22年4月28日付で自己株式を処分した。

これにより、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が20,731百万円、自己株式が106,302百万円減少した。当第3四半期連結会計期間末における利益剰余金は2,702,479百万円、自己株式は161,549百万円である。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	20,916百万円	5円	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月2日 取締役会	普通株式	41,832百万円	10円	平成23年9月30日	平成23年11月29日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、ルノーに対する配当金の内、ルノー株式に占める当社持分相当の配当金を控除したものである。

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

当第3四半期連結会計期間において、該当事項はない。

[前へ](#)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、エグゼクティブコミティが経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社の事業は、製品及びサービスの特性に基づいて、自動車事業と販売金融事業に区分される。自動車事業は、自動車、フォークリフト、マリーン及びそれらの部品の製造と販売を行っている。販売金融事業は、自動車事業の販売活動を支援するために、販売金融及びリース事業を行っている。

2 報告セグメントの売上高、利益（又は損失）の額の測定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、四半期連結財務諸表の作成の基礎となる会計処理の方法と一致している。

事業セグメントの利益は営業利益ベースの数値である。セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいている。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント		合計 (百万円)	セグメント間取引 消去額 (百万円)	四半期連結財務諸表 計上額 (百万円)
	自動車事業 (百万円)	販売金融事業 (百万円)			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,048,973	372,858	6,421,831		6,421,831
(2) セグメント間の内部売上高	23,371	6,181	29,552	29,552	
計	6,072,344	379,039	6,451,383	29,552	6,421,831
セグメント利益	365,059	74,637	439,696	9,165	448,861

前第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント		合計 (百万円)	セグメント間取引 消去額 (百万円)	四半期連結財務諸表 計上額 (百万円)
	自動車事業 (百万円)	販売金融事業 (百万円)			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,983,870	118,884	2,102,754		2,102,754
(2) セグメント間の内部売上高	12,528	2,297	14,825	14,825	
計	1,996,398	121,181	2,117,579	14,825	2,102,754
セグメント利益	85,149	22,708	107,857	6,140	113,997

(注) 1 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した四半期連結財務諸表

- ・販売金融事業は(株)日産フィナンシャルサービス(日本)、米国日産販売金融会社(米国)、エヌアールファイナンスメキシコ(メキシコ)他7社及びカナダ日産自動車会社の販売金融事業(カナダ)で構成されている。
- ・自動車事業及び消去の数値は四半期連結財務諸表計上額から販売金融事業の数値を差し引いたものとしている。

(1) 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した要約第3四半期連結貸借対照表

	前第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)		
	自動車事業 及び消去 (百万円)	販売金融事業 (百万円)	連結計 (百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	676,782	12,891	689,673
受取手形及び売掛金	621,098	211	621,309
販売金融債権	67,747	2,666,823	2,599,076
たな卸資産	1,025,408	18,094	1,043,502
その他の流動資産	598,244	184,333	782,577
流動資産合計	2,853,785	2,882,352	5,736,137
固定資産			
有形固定資産	2,490,845	1,093,421	3,584,266
投資有価証券	375,052	3,539	378,591
その他の固定資産	294,339	124,967	419,306
固定資産合計	3,160,236	1,221,927	4,382,163
資産合計	6,014,021	4,104,279	10,118,300
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	1,071,275	16,812	1,088,087
短期借入金	123,444	1,704,682	1,581,238
リース債務	80,571	160	80,731
その他の流動負債	962,764	124,838	1,087,602
流動負債合計	1,991,166	1,846,492	3,837,658
固定負債			
社債	369,993	266,815	636,808
長期借入金	282,974	1,159,010	1,441,984
リース債務	78,593	239	78,832
その他の固定負債	499,030	443,384	942,414
固定負債合計	1,230,590	1,869,448	3,100,038
負債合計	3,221,756	3,715,940	6,937,696
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	497,328	108,486	605,814
資本剰余金	773,623	30,847	804,470
利益剰余金	2,349,842	352,637	2,702,479
自己株式	161,549		161,549
株主資本合計	3,459,244	491,970	3,951,214
評価・換算差額等			
為替換算調整勘定	990,234	105,679	1,095,913
その他評価・換算差額等	4,732	4,585	147
評価・換算差額等合計	985,502	110,264	1,095,766
新株予約権	2,415		2,415
少数株主持分	316,108	6,633	322,741
純資産合計	2,792,265	388,339	3,180,604
負債純資産合計	6,014,021	4,104,279	10,118,300

(注) 1 「自動車事業及び消去」の販売金融債権は販売金融会社による製品在庫に関わるグループ内融資の消去額を表している。

2 「自動車事業及び消去」の借入金は「販売金融事業」への貸付金677,662百万円の消去後で表示している。

(2) 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した要約第3四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
	自動車事業 及び消去 (百万円)	販売金融事業 (百万円)	連結計 (百万円)
売上高	6,042,792	379,039	6,421,831
売上原価	4,938,118	258,506	5,196,624
売上総利益	1,104,674	120,533	1,225,207
営業利益率	6.2%	19.7%	7.0%
営業利益	374,224	74,637	448,861
金融収支	8,726	22	8,748
その他営業外損益	14,896	1,229	16,125
経常利益	380,394	75,844	456,238
税金等調整前四半期純利益	372,913	75,632	448,545
四半期純利益	240,364	48,083	288,447

(3) 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した要約第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
	自動車事業 及び消去 (百万円)	販売金融事業 (百万円)	連結計 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	372,913	75,632	448,545
減価償却費	299,735	167,459	467,194
販売金融債権の増減額 (は増加)	4,471	212,716	217,187
その他	371,692	13,890	385,582
営業活動による キャッシュ・フロー	296,485	16,485	312,970
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却に よる収入	1,397		1,397
固定資産の売却による収入	28,073	177	28,250
固定資産の取得による支出	153,826	8,129	161,955
リース車両の取得による支出	13,331	429,972	443,303
リース車両の売却による収入	2,308	250,457	252,765
その他	51,407	113,703	165,110
投資活動による キャッシュ・フロー	83,972	73,764	157,736
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (は減少)	17,809	64,611	82,420
長期借入金の変動及び社債 の償還	233,030	90,389	323,419
社債の発行による収入	99,749	133,337	233,086
その他	30,649	51,446	82,095
財務活動による キャッシュ・フロー	146,121	56,113	90,008
現金及び現金同等物に係る 換算差額	67,308	1,426	68,734
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	916	2,592	3,508
現金及び現金同等物の期首残高	746,528	14,967	761,495
新規連結に伴う現金 及び現金同等物の増加額	5,314		5,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	750,926	12,375	763,301

(注) 1 「自動車事業及び消去」の短期借入金の純増減額は、「販売金融事業」への貸付金純減少13,015百万円の消去額を含めて表示している。

2 「自動車事業及び消去」の長期借入金の変動及び社債の償還は、「販売金融事業」への貸付金純増加16,109百万円の消去額を含めて表示している。

(注) 2 所在地別に区分した売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	合計 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,563,432	2,254,673	917,345	1,204,694	481,687	6,421,831		6,421,831
(2) 所在地間 の内部売上高	1,786,818	129,578	76,481	206,749	4,846	2,204,472	2,204,472	
計	3,350,250	2,384,251	993,826	1,411,443	486,533	8,626,303	2,204,472	6,421,831
営業利益	86,015	178,006	32,359	142,604	16,654	455,638	6,777	448,861

前第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	合計 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	460,787	767,337	335,300	371,921	167,409	2,102,754		2,102,754
(2) 所在地間 の内部売上高	654,659	44,147	25,893	90,828	2,065	817,592	817,592	
計	1,115,446	811,484	361,193	462,749	169,474	2,920,346	817,592	2,102,754
営業利益	1,034	48,909	4,746	46,730	7,451	108,870	5,127	113,997

(注) 1 地域は当社並びにグループ会社の所在地を表している。

2 地域の区分は、地理的近接度をベースに事業活動の相互関連性を加味している。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米...米国、カナダ、メキシコ

(2) 欧州...フランス、イギリス、スペイン他欧州諸国

(3) アジア...中国、タイ、インド、その他アジア諸国

(4) その他...大洋州、中近東、メキシコを除く中南米、南アフリカ

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	報告セグメント		合計 (百万円)	セグメント間取引 消去額 (百万円)	四半期連結財務諸表 計上額 (百万円)
	自動車事業 (百万円)	販売金融事業 (百万円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,345,759	352,658	6,698,417		6,698,417
(2) セグメント間の 内部売上高	35,296	11,187	46,483	46,483	
計	6,381,055	363,845	6,744,900	46,483	6,698,417
セグメント利益	308,070	109,083	417,153	10,610	427,763

当第3四半期連結会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

	報告セグメント		合計 (百万円)	セグメント間取引 消去額 (百万円)	四半期連結財務諸表 計上額 (百万円)
	自動車事業 (百万円)	販売金融事業 (百万円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,213,349	117,622	2,330,971		2,330,971
(2) セグメント間の 内部売上高	14,223	4,403	18,626	18,626	
計	2,227,572	122,025	2,349,597	18,626	2,330,971
セグメント利益	81,960	33,075	115,035	3,045	118,080

(注) 1 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した四半期連結財務諸表

- ・販売金融事業は(株)日産フィナンシャルサービス(日本)、米国日産販売金融会社(米国)、エヌアールファイナンスメキシコ(メキシコ)他7社、カナダ日産自動車会社の販売金融事業(カナダ)及び東風汽車有限公司の販売金融事業(中国)で構成されている。
- ・自動車事業及び消去の数値は四半期連結財務諸表計上額から販売金融事業の数値を差し引いたものとしている。

(1) 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した要約第3四半期連結貸借対照表

	当第3四半期連結会計期間(平成23年12月31日)		
	自動車事業 及び消去 (百万円)	販売金融事業 (百万円)	連結計 (百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	582,670	54,638	637,308
受取手形及び売掛金	661,524	1,978	663,502
販売金融債権	86,028	3,010,755	2,924,727
たな卸資産	1,132,285	10,984	1,143,269
その他の流動資産	672,726	218,288	891,014
流動資産合計	2,963,177	3,296,643	6,259,820
固定資産			
有形固定資産	2,347,598	1,142,037	3,489,635
投資有価証券	349,560	4,579	354,139
その他の固定資産	231,190	117,254	348,444
固定資産合計	2,928,348	1,263,870	4,192,218
資産合計	5,891,525	4,560,513	10,452,038
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	1,307,323	17,700	1,325,023
短期借入金	629,385	2,055,549	1,426,164
リース債務	46,682	69	46,751
その他の流動負債	973,455	135,216	1,108,671
流動負債合計	1,698,075	2,208,534	3,906,609
固定負債			
社債	339,996	240,126	580,122
長期借入金	548,775	1,217,907	1,766,682
リース債務	38,250	129	38,379
その他の固定負債	434,349	486,362	920,711
固定負債合計	1,361,370	1,944,524	3,305,894
負債合計	3,059,445	4,153,058	7,212,503
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	482,742	123,072	605,814
資本剰余金	773,623	30,847	804,470
利益剰余金	2,556,330	380,272	2,936,602
自己株式	171,038		171,038
株主資本合計	3,641,657	534,191	4,175,848
その他の包括利益累計額			
為替換算調整勘定	1,123,007	126,406	1,249,413
その他	12,130	7,246	19,376
その他の包括利益累計額合計	1,135,137	133,652	1,268,789
新株予約権	2,415		2,415
少数株主持分	323,145	6,916	330,061
純資産合計	2,832,080	407,455	3,239,535
負債純資産合計	5,891,525	4,560,513	10,452,038

(注) 1 「自動車事業及び消去」の販売金融債権は販売金融会社による製品在庫に関わるグループ内融資の消去額を表している。

2 「自動車事業及び消去」の借入金は「販売金融事業」への貸付金1,040,776百万円の消去後で表示している。

(2) 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した要約第3四半期連結損益計算書

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		
	自動車事業 及び消去 (百万円)	販売金融事業 (百万円)	連結計 (百万円)
売上高	6,334,572	363,845	6,698,417
売上原価	5,289,744	238,575	5,528,319
売上総利益	1,044,828	125,270	1,170,098
営業利益率	5.0%	30.0%	6.4%
営業利益	318,680	109,083	427,763
金融収支	6,188	39	6,227
その他営業外損益	5,274	576	4,698
経常利益	307,218	109,620	416,838
税金等調整前四半期純利益	286,231	109,554	395,785
四半期純利益	199,280	66,817	266,097

(3) 自動車事業セグメントと販売金融事業セグメントを区分した要約第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		
	自動車事業 及び消去 (百万円)	販売金融事業 (百万円)	連結計 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	286,231	109,554	395,785
減価償却費	273,404	157,040	430,444
販売金融債権の増減額 (は増加)	40,892	371,028	330,136
その他	182,925	28,159	211,084
営業活動による キャッシュ・フロー	417,602	132,593	285,009
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却に よる収入	6,599		6,599
固定資産の売却による収入	12,963	415	13,378
固定資産の取得による支出	223,227	15,764	238,991
リース車両の取得による支出	4,565	450,125	454,690
リース車両の売却による収入	3,041	227,557	230,598
その他	39,382	11,486	27,896
投資活動による キャッシュ・フロー	244,571	226,431	471,002
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (は減少)	518,555	162,345	356,210
長期借入金の変動及び社債 の償還	3,418	223,062	226,480
社債の発行による収入	69,862	50,115	119,977
その他	98,102	47,951	146,053
財務活動による キャッシュ・フロー	543,377	387,571	155,806
現金及び現金同等物に係る 換算差額	44,759	1,888	46,647
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	415,105	26,659	388,446
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,451	21,002	1,153,453
新規連結に伴う現金 及び現金同等物の増加額	261		261
現金及び現金同等物の四半期末残高	717,607	47,661	765,268

(注) 1 「自動車事業及び消去」の短期借入金の純増減額は、「販売金融事業」への貸付金純増加272,662百万円の消去額を含めて表示している。

2 「自動車事業及び消去」の長期借入金の変動及び社債の償還は、「販売金融事業」への貸付金純増加12,717百万円の消去額を含めて表示している。

(注) 2 所在地別に区分した売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	合計 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,569,455	2,240,919	1,133,556	1,277,160	477,327	6,698,417		6,698,417
(2) 所在地間 の内部売上高	1,909,116	123,379	98,020	242,587	6,928	2,380,030	2,380,030	
計	3,478,571	2,364,298	1,231,576	1,519,747	484,255	9,078,447	2,380,030	6,698,417
営業利益	72,991	176,623	15,130	139,844	19,798	424,386	3,377	427,763

当第3四半期連結会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	合計 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	548,186	798,853	374,820	432,764	176,348	2,330,971		2,330,971
(2) 所在地間 の内部売上高	710,271	53,299	41,446	69,026	2,736	876,778	876,778	
計	1,258,457	852,152	416,266	501,790	179,084	3,207,749	876,778	2,330,971
営業利益又は 営業損失()	16,770	43,971	1,356	47,865	7,433	114,683	3,397	118,080

(注) 1. 地域は当社並びにグループ会社の所在地を表している。

2. 地域の区分は、地理的の近接度をベースに事業活動の相互関連性を加味している。

3. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米...米国、カナダ、メキシコ
- (2) 欧州...フランス、イギリス、スペイン他欧州諸国
- (3) アジア...中国、タイ、インド、その他アジア諸国
- (4) その他...大洋州、中近東、メキシコを除く中南米、南アフリカ

4 固定資産の減損損失に関する報告セグメント別情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、報告されている事業セグメントの固定資産に係る重要な減損損失は認識していない。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、報告されている事業セグメントの固定資産に係る重要な減損損失は認識していない。

5 のれんに関する報告セグメント別情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、報告されている事業セグメントののれんの金額に重要な変動はない。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、報告されている事業セグメントののれんの金額に重要な変動はない。

6 負ののれん発生益に関する報告セグメント別情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、報告されている事業セグメントに係る重要な負ののれん発生益は認識していない。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、報告されている事業セグメントに係る重要な負ののれん発生益は認識していない。

7 地域に関する情報

(売上高)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(百万円)

日本	北米		欧州	アジア		その他	合計
	内、米国	内、中国					
1,361,365	2,130,784	1,774,333	936,606	1,347,283	996,388	645,793	6,421,831

前第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(百万円)

日本	北米		欧州	アジア		その他	合計
	内、米国	内、中国					
388,654	729,950	606,828	344,037	417,216	301,659	222,897	2,102,754

- (注) 1. 地域は顧客の所在地を表している。
 2. 地域の区分は、地理的近接度をベースに事業活動の相互関連性を加味している。
 3. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米...米国、カナダ、メキシコ
 (2) 欧州...フランス、イギリス、スペイン他欧州諸国
 (3) アジア...中国、タイ、インド、その他アジア諸国
 (4) その他...大洋州、中近東、メキシコを除く中南米、南アフリカ等

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(百万円)

日本	北米		欧州	アジア		その他	合計
	内、米国	内、中国					
1,355,800	2,125,124	1,769,853	1,115,319	1,416,178	1,042,438	685,996	6,698,417

当第3四半期連結会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

(百万円)

日本	北米		欧州	アジア		その他	合計
	内、米国	内、中国					
478,049	761,685	637,674	371,526	520,453	352,515	199,258	2,330,971

- (注) 1. 地域は顧客の所在地を表している。
 2. 地域の区分は、地理的近接度をベースに事業活動の相互関連性を加味している。
 3. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米...米国、カナダ、メキシコ
 (2) 欧州...フランス、イギリス、スペイン他欧州諸国
 (3) アジア...中国、タイ、インド、その他アジア諸国
 (4) その他...大洋州、中近東、メキシコを除く中南米、南アフリカ等

[次へ](#)

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	69円11銭	63円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	288,447	266,097
普通株主に係る四半期純利益(百万円)	288,447	266,097
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,173,707	4,181,834
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

平成23年11月2日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議した。

当社定款の規定に基づき、平成23年9月30日を基準日として以下のとおり支払いを行っている。

- (1) 中間配当による配当金の総額 41,832百万円
 - (2) 1株当たりの金額 10円
 - (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年11月29日
- (注) 配当金の総額は、ルノーに対する配当金の内、ルノー株式に占める当社持分相当の配当金を控除したものである。当社持分相当の配当金控除前の配当金総額は44,816百万円である。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月10日

日産自動車株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 太田 建司 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 室橋 陽二 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 伊藤 功樹 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 賀谷 浩志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日産自動車株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日産自動車株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。